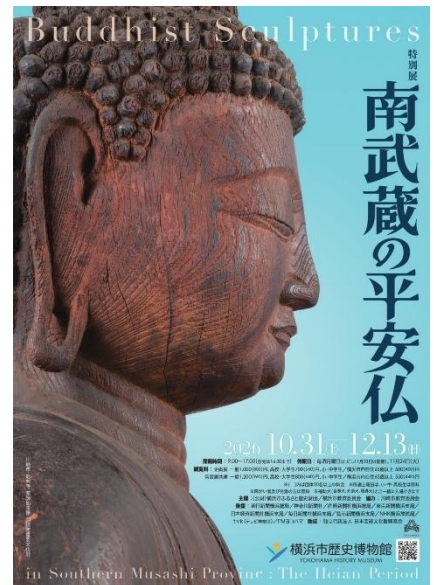


特別展「南武蔵の平安仏」及び関連イベント開催のお知らせ

横浜市歴史博物館では、特別展「南武蔵の平安仏」を開催します。本展では、^{つづきぐん・くら}都筑郡・^{きぐん・たちばなぐん}久良岐郡・橘樹郡の平安仏をご紹介します。発掘調査や仏像彫刻の調査成果から、平安時代の南武蔵の地に根付いた、仏教文化の様相に迫ります。

展覧会概要

- 【会 期】 令和 8 年 10 月 31 日（土）～12 月 13 日（日）
【開館時間】 9 時～17 時（券売は 16 時 30 分まで）
【休 館 日】 毎週月曜日（ただし 11/23 は開館）、11/24（火）
【会 場】 横浜市歴史博物館 企画展示室
【主 催】 （公財）横浜市ふるさと歴史財団・横浜市教育委員会
【協 力】 川崎市教育委員会
【後 援】 朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、
東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞社横浜
支局、読売新聞横浜支局、NHK 横浜放送局、t v k（テレビ神
奈川）、FMヨコハマ
【助 成】 独立行政法人 日本芸術文化振興基金
【観 覧 料】 一般 1,000 円（800 円）、高校・大学生 700 円（560 円）、
小・中学生/横浜市内在住 65 歳以上 500 円（400 円）
※企画展示室のみ。（ ）内は団体 20 名以上の料金。
【開催趣旨】



旧武蔵国の多摩川以南、現在の横浜市と川崎市にほぼ相当する地域には、^{つづきぐん・くら}都筑郡・^{きぐん・たちばなぐん}久良岐郡・橘樹郡の 3 つの郡が置かれていました。これら三郡があった南武蔵の地には、平安時代後期にあたる 11・12 世紀頃の仏像が伝わっています。

南武蔵の平安仏には、各郡の中心寺院であった郡寺とのかかわりが想定される像や、集落内の小さな寺堂に安置されていたとみられる像など、さまざまな来歴のものがああります。また、平安時代後期に普及した和様彫刻の穏和で優美な造形を取り入れた像があるいっぽうで、前代以来の地域性の強い造像の伝統を受けつぐ素朴で大づかみな造形を示す像も多くみられます。

本展では、そうした南武蔵の平安仏の特色や歴史的背景などを紹介しながら、当地域における平安時代の仏教文化の様相を探ります。

関連イベント

講演会やギャラリートークなどの関連イベントを実施します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

◆講演会 ※事前申込制（先着）

専門家による関連講演会全 3 回です。

日時：①11/21（土）、②11/28（土）、③12/5（土） 各回 14:00～15:30（開場 13:30）

◆仏像鑑賞ワークショップ ※事前申込制（抽選）

当館学芸員が仏像の鑑賞の仕方を分かりやすく解説するワークショップです。

日時：11/29（日）(1)10:30～11:30 (2)14:00～15:00

◆いけばなワークショップ「ことばは大事だが、すべてではない」 ※事前申込制（抽選）

いけばな初心者から経験者まで楽しんでいただけるワークショップです。グループで花をいけます。

日程：11/14（土）(1)10:30～12:00 (2)13:30～15:00

◆ギャラリートーク ※事前申込不要

担当学芸員が展示の見どころを解説します。

日時：11/1（日）、11/15（日）、12/13（日） 各日 14 時から 30 分程度

① 郡寺の仏像を紹介

— 影向寺薬師三尊像、約 30 年ぶりの寺外公開

発掘調査による成果から、古代の郡寺にあたるものと想定されている寺院があります。そのうちのひとつが川崎市宮前区^{ようごうじ}の影向寺で、橘樹郡^{ぐんじ}の郡寺と推定されています。

本展示では、現在の本尊薬師三尊像を中心に、郡寺周辺に伝わる仏像を紹介します。



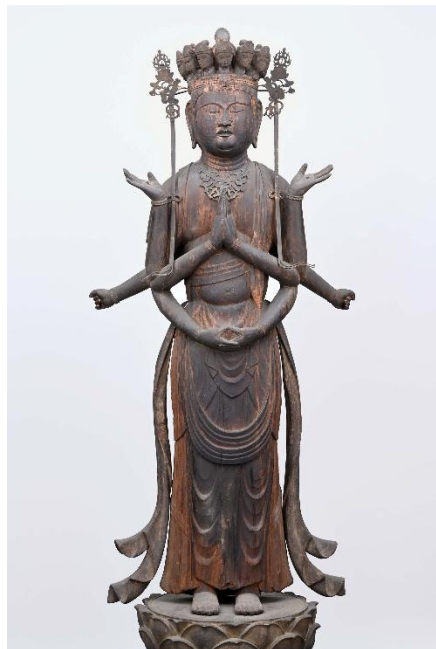
川崎市・影向寺 薬師三尊像
国重要文化財



② 地域の仏像の展開を紹介

— 集落のなかの仏像

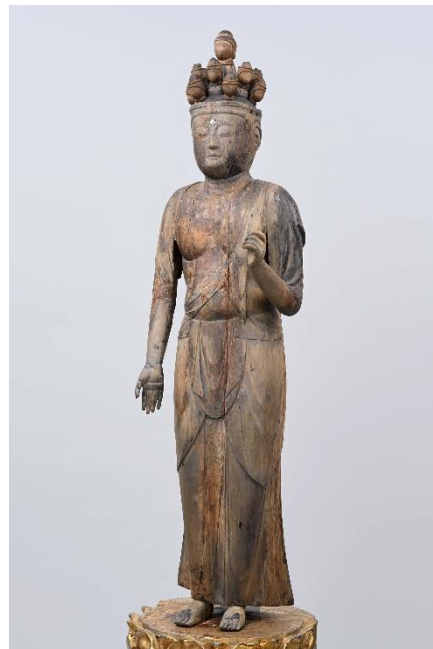
郡寺のような大規模な寺院以外でも、各地の集落に小規模ながらも本格的な仏教信仰の場が形成されていました。当時の都周辺で成立した新たな様式を、徐々に受け入れながら展開していた南武蔵地域の造像の様子がうかがえる仏像を紹介します。



横浜市青葉区・真福寺 菩薩像
(伝千手観音菩薩)
神奈川県指定文化財



横浜市都筑区・清林寺 菩薩像
横浜市指定文化財



横浜市港北区・西方寺 十一面観音
菩薩像
横浜市指定文化財

一般公開に先立ち開催前日の 10 月 30 日（金）14 時から報道関係者向けに内覧会を開催します。担当学芸員が展覧会の見どころをご案内いたします。詳しくは追ってお知らせいたします。

お問合せ先

横浜市歴史博物館 TEL 045-912-7777

副館長：古屋紀之 展示担当：花澤明優美 広報担当：阿諏訪青美・鵜沢倫子・神谷量子・仲泉剛